

(仮称)

買物公園エリア未来ビジョン Ver1

- 概要 -

I 未来ビジョンとは	P.1
II これからの買物公園エリアを考えていくときの視点	P.4
III エリアの目指す将来像	P.11
IV 将来像の実現に向けた取組	P.13
V 推進体制	P.19
VI 未来ビジョン実現に向けた進め方	P.20

令和6年3月

買物公園エリアプラットフォーム



未来ビジョンとは

(仮称)買物公園エリア未来ビジョンって何？

買物公園は、旭川市の中心市街地にある全国初の恒久的な歩行者専用道路です。通りの両側には商業を中心とした様々な店舗や施設が軒を連ね、戦前から旭川のメインストリートとして賑わいを見せていましたが、現在は、人口の減少やEC市場の拡大に伴うライフスタイルの変化、沿道施設の老朽化に伴う未利用地の増加、大規模テナントの撤退などにより、日常的に買物公園エリアを訪れたいという気持ちになかなかつなげていない状況にあります。

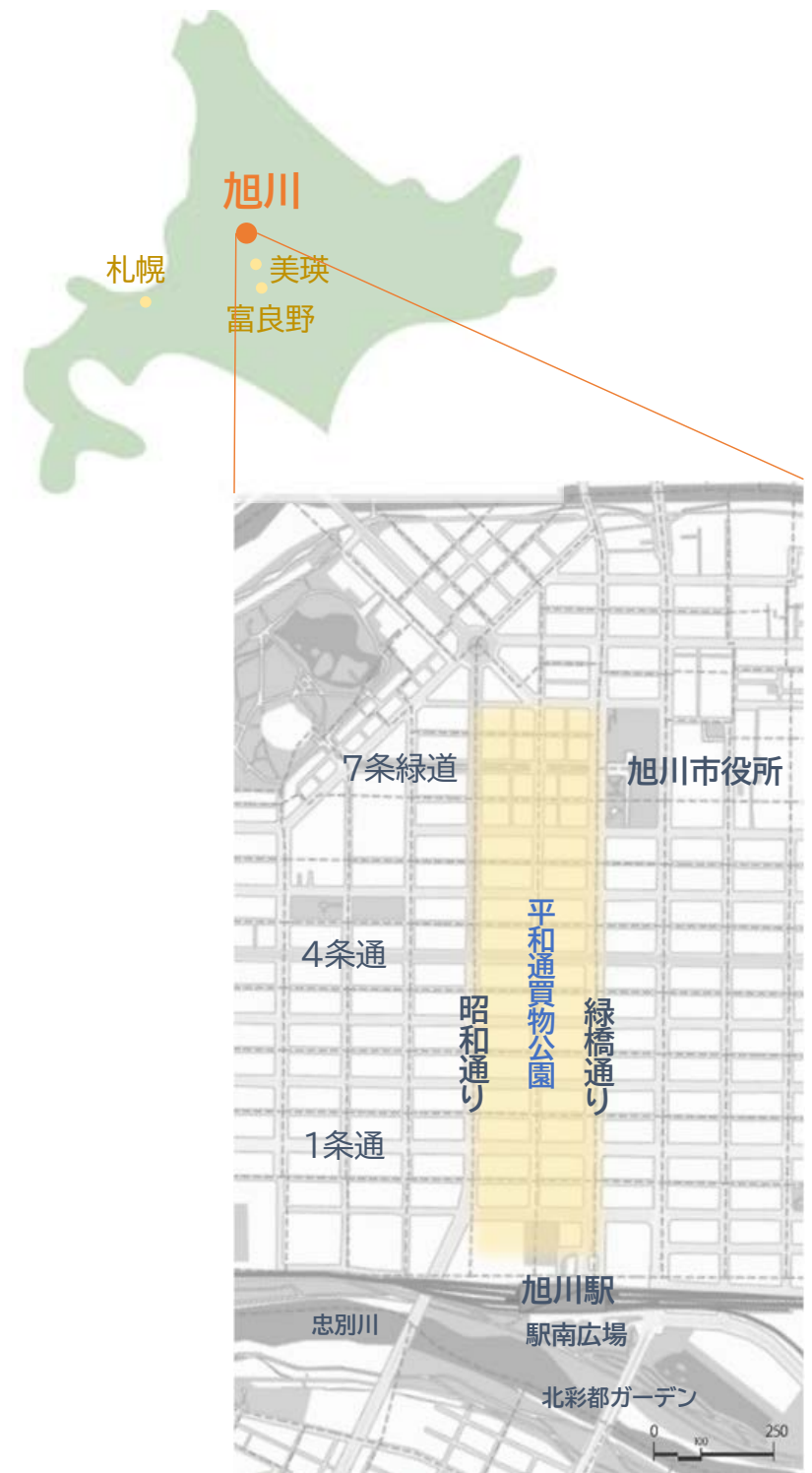
しかし、買物公園エリアには、様々な活用が期待できる公共空間があり、そこで活動する人たちがいます。

こうした人たちが一体となって買物公園エリアの新たな使い方を考えることで、“訪れたい”“滞在したい”と思える空間となる可能性を秘めています。

(仮称)買物公園エリア未来ビジョンでは、「まちの顔」である買物公園エリアの目指したい将来像に向け、「随時ライトな変化、アップデートすること」を前提として、買物公園エリアの今後のまちづくりの方向性や将来像実現に向けた取組を描いたものです。

(仮称)買物公園エリア未来ビジョンでわかることは？

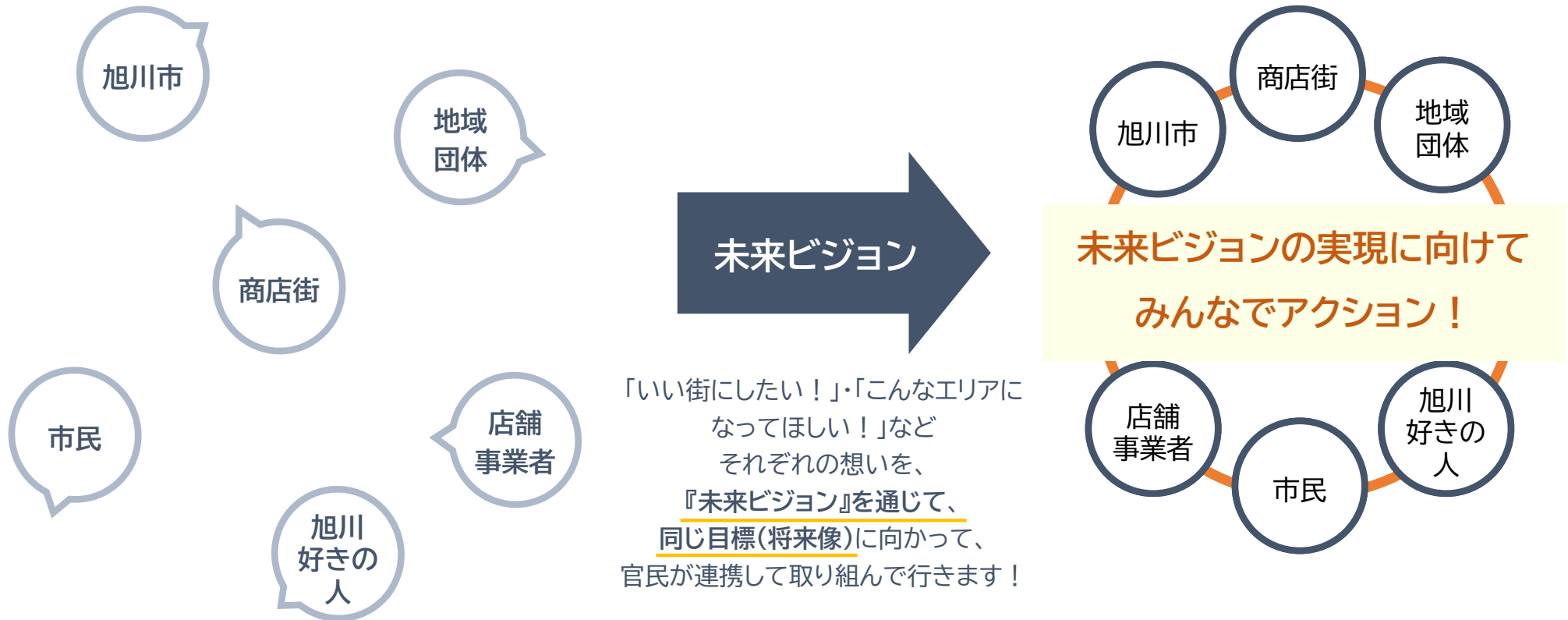
- ・ 旭川の中心地である買物公園エリアの将来像がわかる！
- ・ みんなで進める取組の考え方や方向性がわかる！



誰にとっての未来ビジョン？

➔ **買物公園エリアを使うあなたです！**

：市民、商店街、店舗事業者、金融機関、行政、観光団体、地域活動団体、特産製造団体、宿泊事業者、学生、旭川好きの人 など



買物公園エリアの特性

～歩行者天国として50年以上の歴史を持つ買物公園エリアは、昔から続くものや新しいものが共存するエリアです～
 様々な商業施設や専門店、飲食店などがあり、通り沿いにはひと休みできるベンチが設置されています

ストリートアート



▶買物公園にはいくつかの彫刻像が並んでいて、歩きながらアートを楽しめます

多様な施設



▶子どもが遊べる場所や、北海道最大級のeスポーツスタジアムを持つICTパークなど様々な施設があります

まちなかに自然豊かなオアシス



▶駅の南側に出ると川が流れ、豊かなガーデンが広がっています



繁華街や飲食店



▶道北最大の繁華街「さんろく街」や、ふらっと立ち寄りたくなる飲食店小路には店舗がたくさん

▶新規事業者のチャレンジを受け入れる屋台村も



イベント実施可能な公共空間



▶夏場には沿道にテラスセットが立ち並びます

▶買物公園エリアを使用したイベントも多数開催



これからの買物公園エリアを考えていくときの視点

1. 買物公園エリアの歴史・取組

- ・1972年6月1日に、全国初の恒久的な歩行者専用道路として、平和通買物公園が誕生しました。
- ・近年、世界各地・国内各地で、車中心だった都市から、人中心の都市へシフトしていく「ウォーカブルなまちづくり」が進められています。
- ・50年前から、“人中心の空間”として開設された買物公園は先進的な道路空間となっています。

2. 買物公園エリアの問題点や課題


買物公園のあり方検討会議やアンケート調査、沿道建物等の利用状況調査、人流データ分析を通じて、買物公園エリアの課題を整理しました。

- ① 来訪機会や目的性が乏しい: 来訪時の印象では「歩きやすさ」の評価が高いものの、「沿道の魅力」に対する評価は高くない。未利用地も点在。
- ② 消費や滞在を促す機能の低下: 来街時の滞在時間は1時間未満の割合が高い。また、駅周辺に回遊が留まっている。
- ③ 滞留・滞在者が少ない: イベント時の通行は増加する傾向だが、日常的な来街・滞在に結び付いていない。

3. 課題解決の方向性(官民連携によるアクション)

- ・課題解決にあたっては主体ごとに取り組むのではなく、共通の将来像を掲げ、取組を一体的に推進していくことが必要です。
- ・未来ビジョンでは、この先の買物公園エリアの将来像や将来像実現のための方針、官民連携での取組を描きます。
- ・未来ビジョンでありたい姿を描き、そこから「今何をすべきなのか」を考え、官民連携で課題にアプローチしていきます。

1. 買物公園エリアの歴史・取組

- 
- 1890年:開村
 - 1898年:旭川駅が開業
 - 1901年:第七師団移駐
旭川駅から第七師団へと続く道は、「師団通」と呼ばれました。
 - 1902年:旭川町制施行
 - 1912年:常磐公園開園
 - 1922年:旭川市制施行
 - 1945年:師団通から平和通へ
 - 1969年:社会実験の実施
8月に12日間の車両通行止めが許可され、当時としては前代未聞の社会実験が実施されました。
 - 1972年:日本で初めての恒久的歩行者専用道路として、平和通買物公園誕生
交通事故の多さや札幌商圈拡大に対応するため、「車社会からの開放」と「自然との対話」による「人間性の回復」を目的として、恒久的な歩行者専用道路となりました。
 - 2002年:買物公園リニューアル
複数回に渡るリニューアル工事を経て、この年、両側にロードヒーティングが施され、花壇や遊具などが撤去されるとともに、S字道路が直線になり、イベントで人が集まりやすい現在の姿になりました。
 - 2014年:北彩都あさひかわ完成
旭川駅周辺地区の約85.5haを整備・拡充し、豊かな自然と都市機能が調和するエリアが完成しました。
 - 2022年:平和通買物公園50周年、市制施行100年
 - 2023年:買物公園のあり方検討会議設置

1. 買物公園エリアの歴史・取組

全国で進む「ウォーカブルなまちづくり」

国では“WE DO※”に賛同する都市を「ウォーカブル推進都市」として募集し、国内外の先進事例の情報共有や今後の政策づくりに向けた意見交換を行うことで、全国で「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指した取組を進めています。

※国が提唱するキーワードWE DO:Walkable Eye level Diversity Open



ウォーカブル推進都市(358団体(2023.11.30時点))

出典:国土交通省HP

全国に先駆けて進む旭川の「ウォーカブルなまちづくり」

～買物公園の恒久的な歩行者専用道路～

買物公園は今から約50年前に誕生した全国初の恒久的な歩行者専用道路です。実現にあたっては市と地元商店街が密に連携を図り、車中心の道から「人のための道」に変えるため、数度の社会実験を経て、実現に至りました。

先進的なまち・買物公園エリアですが、社会情勢の変化やまちづくりの課題を踏まえ、この先のあるべき姿を考える機会が今来ています。



出典:旭川平和通商店街振興組合HP

● 1972年6月1日開設



出典:旭川平和通商店街振興組合HP

● 子どもの遊び場空間が充実していた開設時の買物公園エリア

2002年リニューアル ●

すっきりした可変的な空間の設えと緑を取り入れた、今の姿の買物公園にリニューアル整備



現在の買物公園エリア

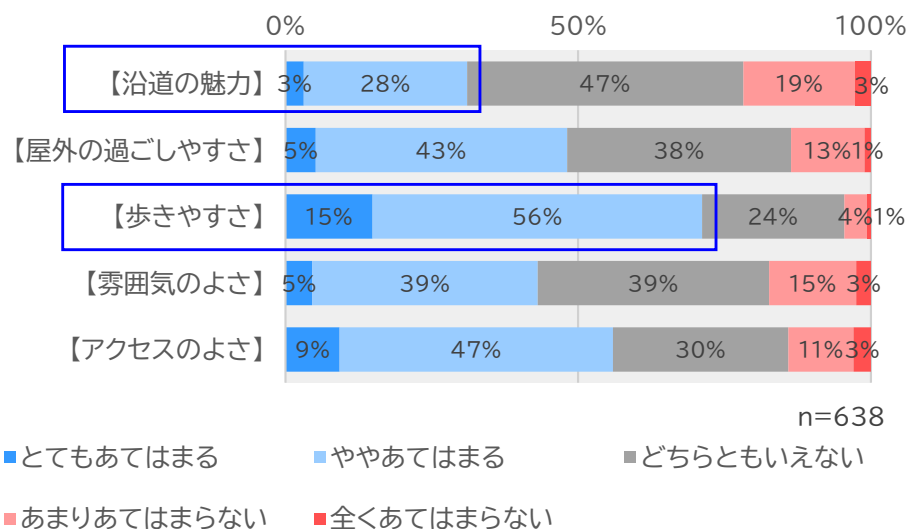


2. 買物公園エリアの問題点や課題

① 来訪機会や目的性が乏しい

- 買物公園の「沿道の魅力」の低下がみられる。
- 買物公園沿道に面する駐車場・空き店舗は道路延長の約3割を占め、それらは買物公園エリア全体に点在している。
- 魅力的な個人店やスポットが認識されていない。
- かつては見られた学生や子どもの滞在や活動がほとんど見られない。

◆ 買物公園エリアを訪れたときに感じた印象(旭川市・8町／全年齢)



◆ 沿道に対する延長距離

買物公園沿道	未利用地延長 A	道路延長 B	買物公園延長 C	未利用地が面する割合 A/(C-B)
東側	293m	248m	1,045m	37%
西側	222m			28%
東側・西側	515m	上記×2	上記×2	32%



2. 買物公園エリアの問題点や課題

②消費や滞在を促す機能の低下

- 駅前ホテル滞在者は、駅前から1条付近が移動範囲の中心となり、エリア全体への回遊が少ない。
- 来訪者の滞在時間は、4条以北・以南ともに1時間未満が約6割を占めている。
- 新規のイベントや取組が実現しにくい。
- 何ができるか、どこを活用できるのか分からない(管理者も不明)。

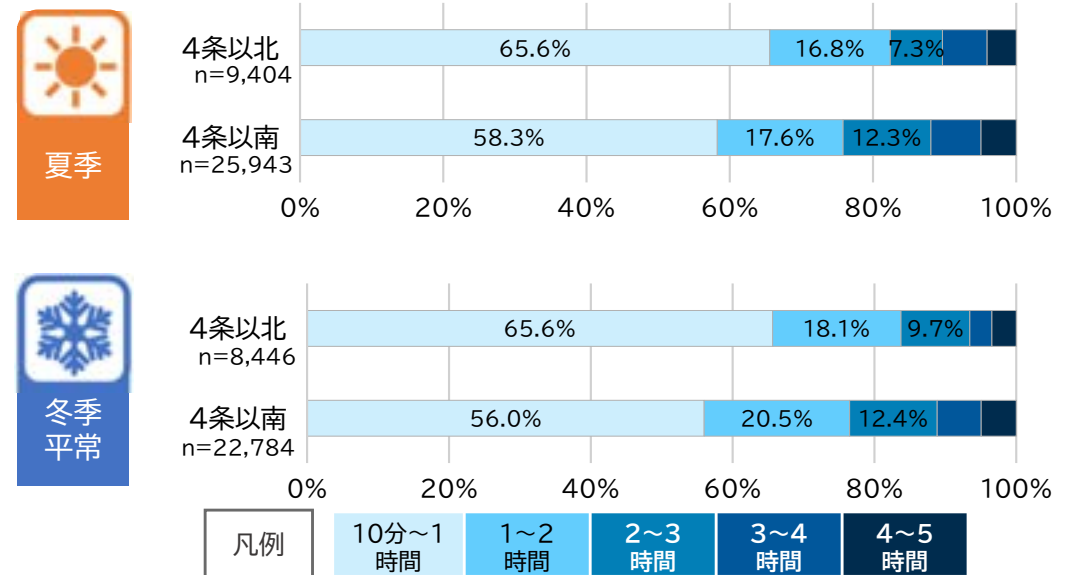
◆駅前ホテル滞在者の移動軌跡

※2022.7月全日の位置情報(185,882ログ)



◆1度の来訪での滞在時間割合(4条通以南・以北別)

※日平均, かつ滞在時間が10分~5時間未満の割合のみ記載



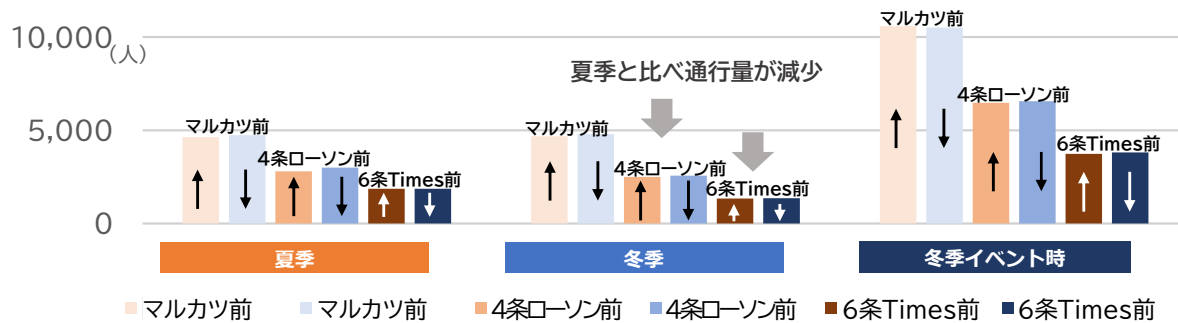
※滞在時間が10分以上5時間未満のユーザーと対象とし
各ユーザーの総滞在時間を滞在回数で除して平均滞在時間として算出した。(R4.7.8-9のデータより集計)

2. 買物公園エリアの問題点や課題

③滞留・滞在者が少ない

- 冬季イベント時は通常時に比べ多くの通行がある。
- マルカツ前は夏冬で通行量の差はないが、4条・6条では冬季に減少する。
- 来街時の移動手段が、来街機会や立ち寄りに影響している。
- 樹高が低い南側は木陰が少ない。
- 授乳室やオムツ替え室など子育て世代向けの設備が少ない。
- バス待ちなど、ちょっとした時間をつぶせる場所がない。

◆各断面の方向別通行量(日平均)

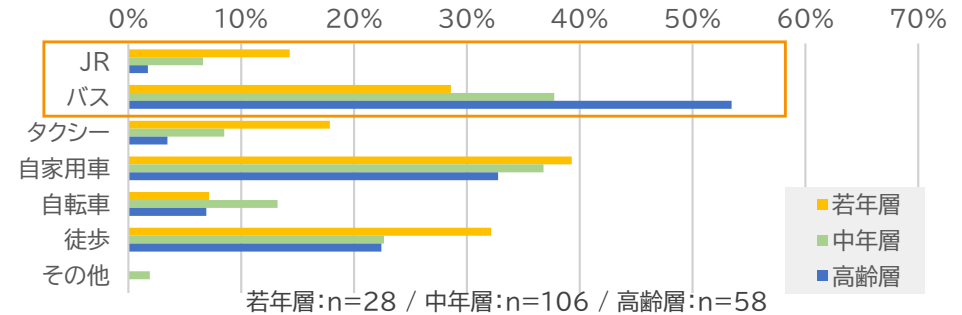


出典: 旭川市HP

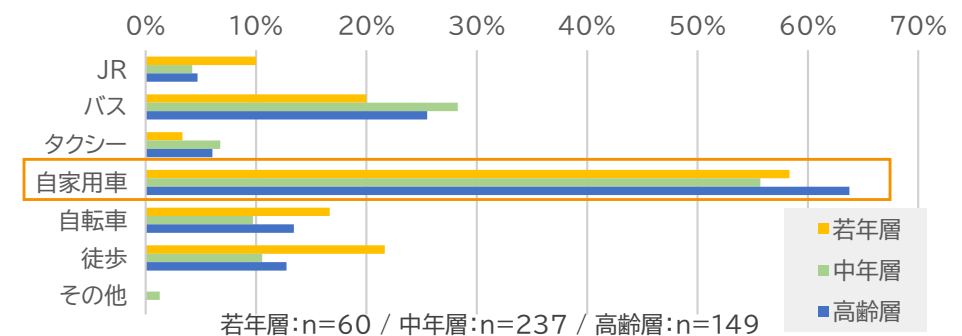


出典: 旭川市撮影

◆買物公園エリアに「よく訪れる」人の来訪時の移動手段

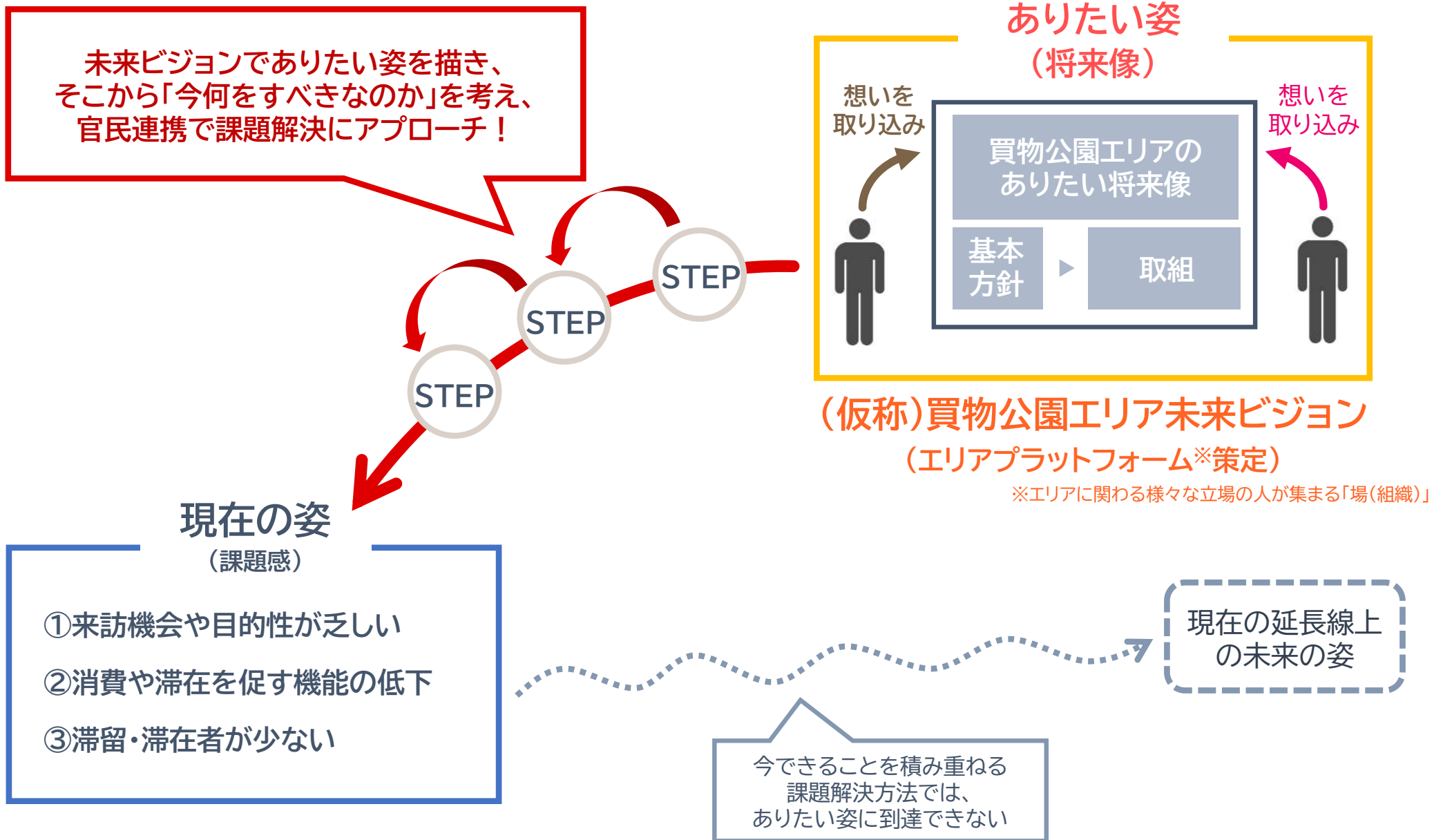


◆買物公園エリアに「たまに訪れる」人の来訪時の移動手段



3. 課題解決の方向性(官民連携によるアクション)

～バックカスティングで未来ビジョン(ありたい姿)の実現に向けて官民連携で取り組んでいきます～





エリアの目指す将来像

～これまでの課題や皆の想い・期待を受けて、買物公園エリアはこんなまちを目指します～

じょう “条”ごとの「よさ」があふれ・混ざりあう買物公園(仮)

買物公園の“条”によって分かれる街区の魅力や、事業者や地元の方の“情(想い)”が連なるとともに、
買物公園エリアの人と人がつながり、魅力を増し、発信することで、
市民や観光客など多様な来街者の体験・体感が増え、訪れてみたい・また訪れたいが生まれ続けるエリアを目指す



※鳥瞰パース(イラスト風で現在調整中)

～目指す将来像の実現に向けて～

01

※イラスト

旭川の中心
イケてるエリア

- デザイン創造都市
- 先進的なウォークブル空間
- 一体感あるエリア

みんなで目指すエリアの姿

ここにいればイケてる
と思われるエリアを目指す！

#デザイン創造都市 #一体感

#発信 #イケてる

02

※イラスト

行きたい・回遊
したいと思うエリア

- 新しい空間の創出
- 来街者の居場所づくり
- エリアで活動する人たちが連携
- 移動利便性の向上

みんなで目指すエリアの姿

行きたくなる・回遊したく
なるエリアを目指す！

#多様な人 #たまり場 #移動利便性

#ハブ #繋がり #持続可能

03

※イラスト

やりたいが自由に
実現できるエリア

- 使いやすい公共空間やオープンスペース
- 常に新しい取組があるエリア

みんなで目指すエリアの姿

やりたいことが実現できる
エリアを目指す！

#利用しやすい #チャレンジ

#仕組み

IV

将来像の実現に向けた取組

～将来像(ありたい姿)に基づき、取組を示します～

① 滞在機能強化 ・回遊性向上

#たまり場 #移動利便性 #ハブ
#デザイン創造都市 #繋がり

様々な機能がある滞在空間
(ウォークポイント)の設置や
モビリティの導入により、滞
在・回遊を生む

② 効果的な 情報発信

#発信 #多様な人
#イケてる

来街者に対して、
魅力的な店舗や多様な
イベント情報を発信する

③ チャレンジできる 仕組みづくり

#チャレンジ #仕組み
#利用しやすい

利用可能な公共空間・
未利用地で、新規出店や
イベントがしやすくなる
仕組みをつくる

④ ブランディング された街並み形成

#持続可能 #ハブ
#繋がり #一体感

統一された街並みが
形成・保全されていくため
のルール・ガイドラインを
整備する

短期的な取組

- ・社会実験による仮設の滞在空間の整備・増設
- ・社会実験による移動を支援するモビリティ導入など

- ・(仮称)利活用可能空間のお知らせツアー
- ・交通結節点におけるエリア情報の発信など

- ・沿道の空き店舗等を活用した新規事業者支援(物件とのマッチングやチャレンジショップ) など

- ・沿道建物のグランドレベル(1・2階)のルール等の検討 など

中長期的な取組

- ・歩行者・滞在者・モビリティが共存する空間づくりなど

- ・活用可能な公共空間・空き店舗・未利用地等のデータバンク構築 など

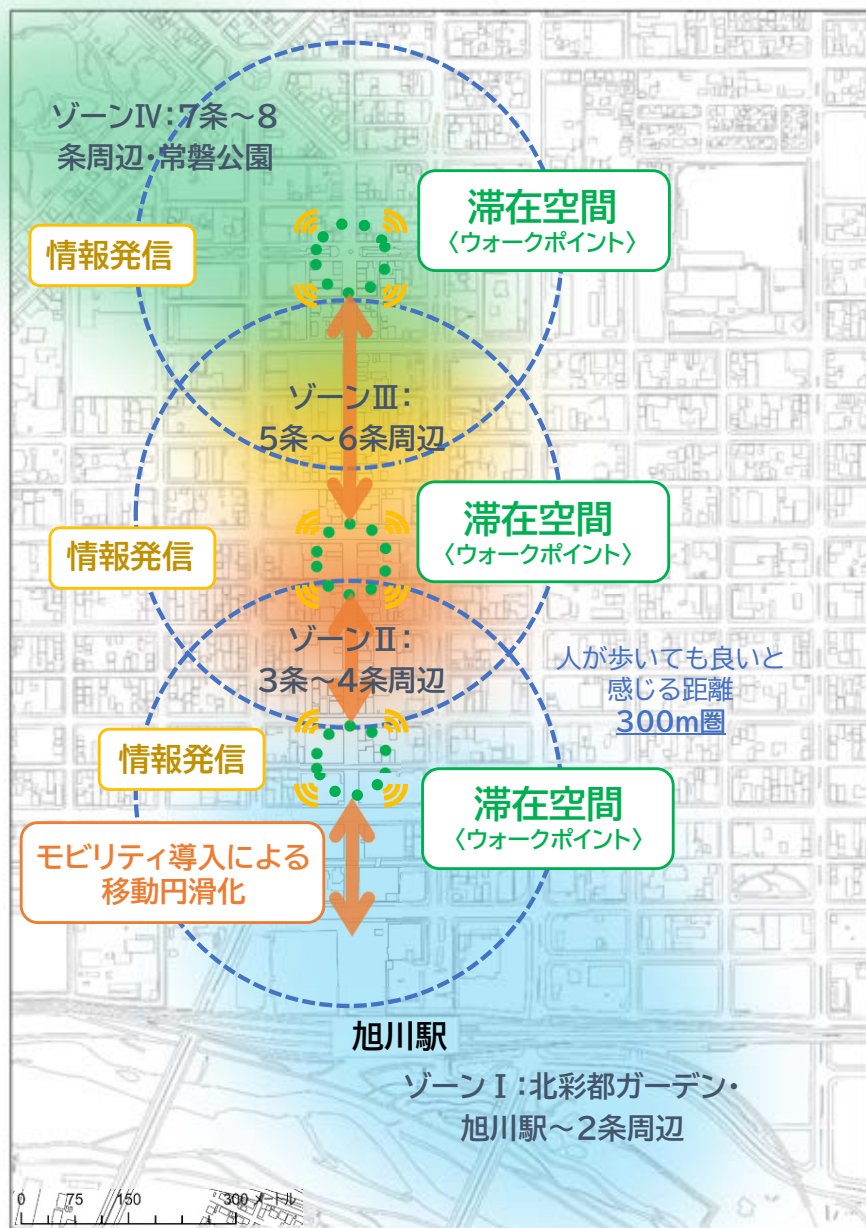
- ・簡易な沿道の空き店舗や公共空間等の利活用申請の仕組み構築 など

- ・沿道建物のグランドルール含めた街並みルール等のガイドライン作成 など

※取組については、みなさまからのご提案も募っております!

1.【エリア全体】ビジョン実現に向けた取組方針

～将来ビジョン実現に向けて、ゾーンⅠ～Ⅳの特性・強みを生かし、4つの基本方針のもと取組を進めていきます。～



(1)滞在機能強化・回遊性向上

- ①300mごとの滞在空間の設置
 - ・滞在空間が約300m以内の距離帯で設置され、誰もがちょっとした休憩・滞在をできる
 - ⇒期待する効果:滞在時間の増加
- ②滞在空間を繋ぐ移動手段の導入
 - ・エリア内の移動円滑化を目的としたモビリティの導入などにより、エリア内の移動が気軽にできる
 - ⇒期待する効果:回遊性の向上

(2)効果的な情報発信

- ①交通結節点等を核とした情報発信
 - ・交通結節点や公共交通の集積地を中心に、SNSなどにより誰もが、簡単に周辺や買物公園全体の情報が入手できる
 - ⇒期待する効果:魅力の伝達・来街促進
- ②魅力的な店舗やイベント情報等の発信
 - ・ゾーンごとに、店舗やイベント情報の魅力を詳しく発信することにより、当初の目的に加え、新たな目的地が生まれる
 - ⇒期待する効果:立寄り点の増加

(3)チャレンジできる仕組みづくり

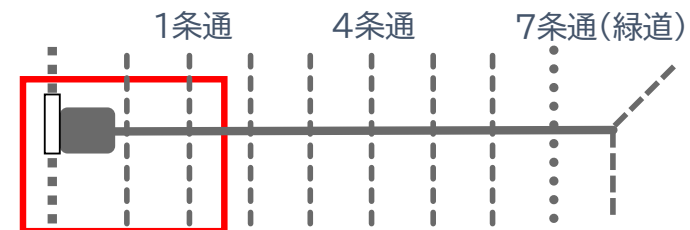
- ①沿道空き店舗・未利用地等のストック活用促進
 - ・利用可能な空き店舗や未利用地等情報の案内により、市民や事業者等は簡単に情報を取得できる
 - ⇒期待する効果:ストック情報の共有
- ②エリアプラットフォームとの連携による公共空間等の利用申請の簡易化、新規事業の支援
 - ・エリアプラットフォームへの相談により、市民や事業者等は簡単に店出・活用できる
 - ⇒期待する効果:積極的な未利用地等の活用

(4)ブランディングされた街並み形成

- ①沿道建物の街並み統一
 - ・利活用のルール・ガイドラインが整備され、ランドデザインの賑わいや街並みに統一性を感じる
 - ⇒期待する効果:統一感ある街並みの形成

2. ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた戦略案

ゾーンⅠ 北彩都ガーデン・旭川駅～2条周辺



都会と自然がほどよく調和した 買物公園のエントランスゾーン

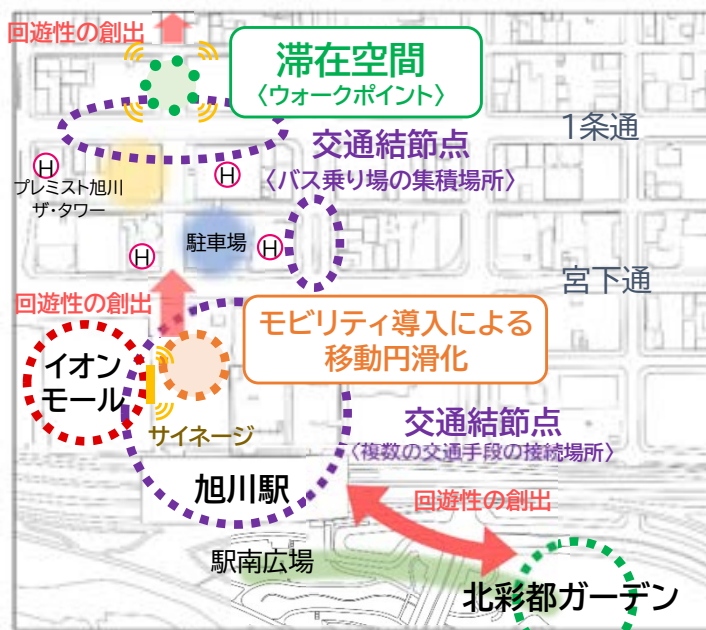
<ゾーンの資源・特徴>

- 人を迎える・人が集まる ▶ 交通の結節点であり、来訪者を迎える、通勤する人・通学する人などいろいろな交通手段を利用する人が集まる(駅・駅付近・1条通)
- みんなに便利 ▶ 観光や出張で訪れる人にも、買物をする人、子育てをする人、住む人にも利便性が高い(ホテル、大型商業施設、子育て関連施設など)
- 駅直結の自然 ▶ 駅直結で、川や緑など、旭川の雄大な自然を感じることができる(北彩都ガーデンなど)



<ゾーンの目指す将来ビジョン>

- ・便利でありながら、豊かな自然を味わうことができるゾーン
- ・観光をする人、買物をする人、公共交通を利用する人など、集まる人が一息つき、くつろげるゾーン
- ・駅からも気軽に行き来できる、買物公園の玄関口、出発点となるゾーン



まちづくり方針図(ゾーンⅠ)

<施策イメージ>

結節点に隣接した滞在空間の設置

隣接する自然も生かしながら、様々な目的で集まる人たちが、それぞれ自由にくつろげる空間のほか、乗換時間などの隙間時間も快適に過ごせる空間を設置します。



買物公園エリア内の移動支援

買物公園エリアの玄関口として、エリア全体を気軽に回遊できるよう、エリア内の移動を支援します。



買物公園エリア全体の情報発信

買物公園エリアの出発点として、エリア全体の来街機会・滞在時間の増加につながるよう、エリア全体の魅力を発信します。

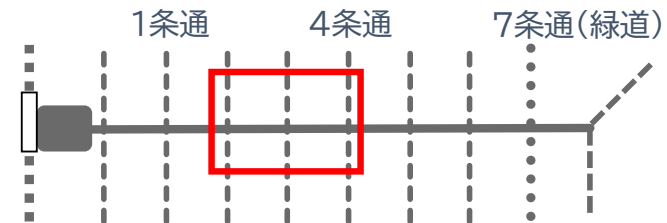
暫定イメージ図



将来イメージパース図(ゾーンⅠ)

2. ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた戦略案

ゾーンⅡ 3条～4条周辺



オフィスとエンタメ・歴史と未来を結ぶ 買物公園のセンターゾーン

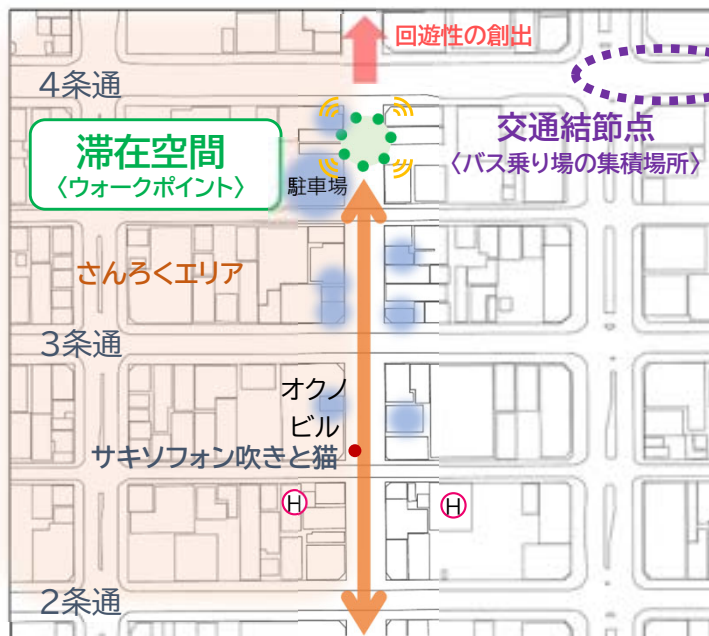
<ゾーンの資源・特徴>

- ビジネスの中心 ▶ 企業の支店などオフィスが立ち並び、働く人が集まる
- 歴史ある繁華街の入口 ▶ 多くの飲食店が軒を連ね、幅広い年齢層に楽しまれている旭川最大の繁華街(サンロク街)に面している
- 若者向けの店舗・施設 ▶ 若者向けの飲食店やエンターテイメントが多く集まっている(カフェ、カラオケ、eスポーツの拠点)
- 可能性を秘めた建物など ▶ 一部は空テナントとなっているものの、ガラス張りやレトロな外観を持つものなど、使い方次第で、歩行者の目線で楽しむことができるものとなる建物や、市民に愛される彫刻(サキソフォン吹きと猫)が存在



<ゾーンの目指す将来ビジョン>

- ・オフィスで働く人や繁華街で飲食をした人などが、さらに居心地よく過ごすことができるゾーン
- ・学生などの若者たちが、気軽に立ち寄り、「何かやりたくなる」ようなゾーン
- ・可能性のある建物などを活用しながら、自由な活動が行われ、歩く人も楽しむことができるゾーン



まちづくり方針図(ゾーンⅡ)

<施策イメージ>

快適な滞在空間の設置

集まる人たちの特徴に応じ、働く人が休憩できる、飲食を味わえる屋外バル、若者が集まることのできる「たまり場」などのように、集まる人たちがさらに居心地が良いと思える空間を設置します。

可能性のある建物などの活用

沿道の空テナント等の活用可能な物件のマッチングを行う、市民に愛される彫刻を生かすなど、建物などを効果的に活用し、家具などの作品の展示、ライブパフォーマンスのステージなど、歩行者の目線でも楽しむことができる空間を設置します。

イメージイラスト

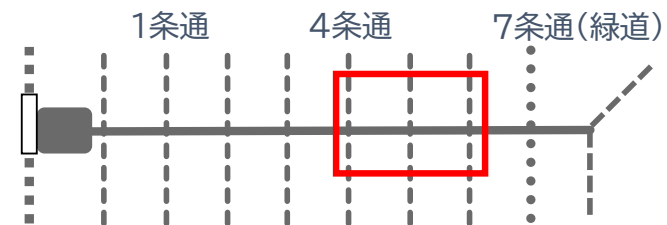
※3条4条周辺のイメージで作成予定



将来イメージパース図(ゾーンⅡ)

2. ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた戦略案

ゾーンⅢ 5条～6条周辺



旭川を代表する食で惹き付ける チャレンジを続ける 買物公園のハートウォーミングゾーン

<ゾーンの資源・特徴>

- 特色ある食のコンテンツ ▶ 旭川を代表するソウルフードを提供する飲食店、昭和のレトロな雰囲気を残す小路や新たな出店を支援する屋台村など、食のコンテンツが充実
- 大規模な低未利用地 ▶ 大規模な駐車場や一時貸し駐車場が多く存在



<ゾーンの目指す将来ビジョン>

- ・充実した食を楽しむことができ、醸し出る魅力により多くの人を惹きつけるゾーン
- ・広いスペースを生かした活動にチャレンジできるゾーン



まちづくり方針図(ゾーンⅢ)

<施策イメージ>

飲食施設がさらに快適になるような機能の導入

集客力の高い食のコンテンツ集積を生かし、子ども連れでも楽しめる飲食エリアとするための子ども遊び場の導入など、その前後の待ち合わせ時間や飲食を楽しむための機能を導入します。

広いスペースの活用

ストリートダンスやスケートボードなどを楽しむことができる施設など、広いスペースを効果的に活用できる空間を設置します。

イメージイラスト

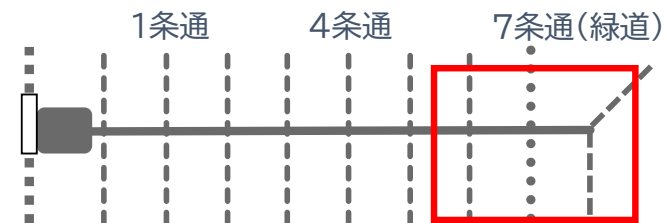
※5条6条周辺のイメージで作成予定



将来イメージパース図(ゾーンⅢ)

2. ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた戦略案

ゾーンⅣ 7条～8条周辺・常磐公園



和やかな個性と自然があふれる 買物公園のカルチャーゾーン

<ゾーンの資源・特徴>

- 個性的な店舗など** ▶ 個性的な店舗や、市民に愛される噴水(手の噴水)などが並び、オリジナリティのある雰囲気形成されている
- 豊かな自然** ▶ 7条緑道から常磐公園まで続くみどりなど、豊かな自然が存在
- 文化の拠点など** ▶ 多くの人が集う文化の拠点をはじめ、文化的な機能が集まっているほか、市役所新庁舎やシティホテルなど人が集まる施設も存在



<ゾーンの目指す将来ビジョン>

- ・独自の雰囲気を味わうことができる「とっておき」のゾーン
- ・豊かな自然が持つ快適さ生かし、集まる人が一息つき、くつろげるゾーン
- ・集まる人同士がつながり、文化的な活動を発信できるゾーン



<施策イメージ>

自然とつながる滞在空間の設置
豊かな自然の中で快適に過ごせるような空間を設置します。

文化の拠点と連携した滞在空間の設置
文化の拠点など連携し、集まる人がつながり、屋外でも文化的な活動ができる空間を設置します。

暫定イメージ図



将来イメージパース図(ゾーンⅣ)

まちづくり方針図(ゾーンⅣ)



推進体制

～未来ビジョンを実現していくために、取組を推進する組織をつくります～

未来ビジョンの実現や一体感のあるエリアづくりを目指し、各種団体等の“取組や活動情報を共有”する場として、「(仮称)買物公園エリアプラットフォーム」をつくります。活動していく中で、その時々にあった組織の形をつくっていけるよう、段階的に組織をアップデートしていきます。

【初動期】

- ・ゆるやかに連携する「場」として、主に情報共有を目的に、エリアプラットフォームとしての活動を始めます。
- ・エリアプラットフォームのメンバー間での情報共有を通じて、お互い(メンバー)のことや得意なこと等を共有していきます。

【成長期】

- ・メンバー間での情報共有を活発化させ、エリアプラットフォームとしての小さなアクションを試行していくための「チーム」づくりを行い、エリアプラットフォームとしての実行力を培っていきます。

【成熟期】

- ・将来的には、メンバー間の連携によってエリア価値向上をさらに推進させるため、組織のアップデートを目指します。

初動期

スモールスタート
でできることから始める！

成長期

メンバー間の連携による新たな
取組の創出！

成熟期

エリア全体の価値向上につなげていく！





未来ビジョン実現に向けた進め方

～取組の基本姿勢を持って、未来ビジョンの実現に向けたロードマップ(進め方)を示します～

取組(活動)の基本姿勢

“じぶんごと”として、積極的に参加しよう！

・未来ビジョンの実現に向けて、自ら何か変えたい！自分ならこんなことができる！という想いを持って参加しましょう！

同じ想いのメンバーたちと繋がろう！

・未来ビジョンの実現に向けて、エリアプラットフォームには同じ想いや同じ悩みを持つメンバーが所属しているはず。業種の立場や世代を超えた繋がりをつくりましょう！

現在の取組に、+αをみんなで作っていきましょう！

・未来ビジョンの実現に向けて、大きな新しいことを始めるのではなく、自分の身の回りの取組に、一つ“買物公園エリアのために”を加えて、実行してみましょう！

2024年

未来ビジョンの作成、
エリアプラットフォームの組成

ビジョンで
将来像を知る

仲間が集う・
誘う

2025年

各主体の「取組」を共有、
買物公園での「新たな居場所づくり」を試行

仲間を
知り、増やす

新たな活用
可能性を探る

まちなかに
居場所ができる

移動が
しやすくなる

20XX年

買物公園で回遊性が高まる、
みんなが居心地よく、過ごすエリアとなる

条ごとの特徴
が浮き出る

まちなかでの
滞在人数・時間が
増える

徐々にアップデート！